

町勢要覧 2017



鹿児島県徳之島町

目次

■町歌・町章・町花・町木	1
■観光マップ	2
■年中カレンダー	4
■自然景観	6
■伝統文化	7
■学校教育	8
■社会教育	9
■健康増進	10
■社会福祉	11
■生活環境	12
■農林水産	13
■議会	14
■行政	15
■防災消防	16
資料編	17

発刊に寄せて

徳之島町では、平成24年から「第5次徳之島町総合計画」に基づいて、「人と自然が輝きみんなで紡ぐ きらめきのまち」を将来像とした積極的なまちづくりを進めています。

また近年は、少子高齢化や環境問題、高度情報化、男女共同参画など著しく社会情勢が変化しています。変化する社会に対応した町民と行政の協働による新たなまちづくりの展開や自主性・自立性が求められています。

こうした中、豊かな地域社会を創造するために、徳之島町の魅力を活かした施策の展開により、地域活性化を促進してまいりました。

この町勢要覧は、先人諸先輩方や町民の皆様によって築き上げられた徳之島町の姿を映しだしたものです。

皆様には、この要覧を通じて、本町への理解と関心を深めていただくとともに、実際に徳之島町へお越しいただき、美しい自然と薫り高い文化、歴史などの魅力に触れていただければ幸いです。

徳之島町長 高岡 秀規

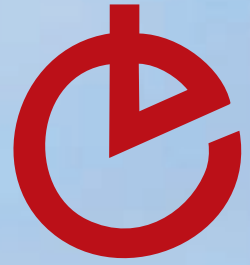


徳之島町町歌

徳山博良 作曲

上田武義 作詞

1. のぼる朝日はうららかに 望む海原ようようと
大空高くあざやかな つゞく高ねにまもられて
ずい気みなぎるわが町の その名もゆかし徳之島町
2. なぎさは長く砂白く 大島小島ほの見えて
におう浜風さわやかに みのり豊かな理想郷
つらなる町はいやさかえ とわに伸びゆく徳之島町
3. あゝうるわしき白百合の ゆかしくひらくわが里の
その名のかおる人々の かがやくほまれたゝえつつ
力合わせてはつらつと いよ よおこさん徳之島町



町章

昭和 39 年制定

”とくのしま”の「と」の字を図案化したもの。一本の軸を中心に描かれた円は、町民の”和”が強調されています。



町花 ユウナ (オオハマボウ)

平成 22 年 3 月制定

徳之島の子守唄にも登場するユウナの花は、海岸に群生し、防風林の役割も持つなど古くから島の人々の生活に根付いています。



町木 アダン

平成 22 年 3 月制定

南国をイメージさせるアダンは、海岸に群生し、一年を通して黄色の色鮮やかな実をつけます。



手々海浜公園



金見崎海岸で群生するヤドカリ



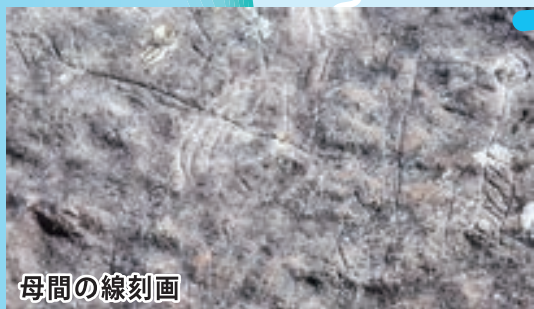
金見集落のソテツトンネル



山集落のガジュマルの巨木



徳之島小唄記念碑



母間の線刻画

TOKUNOSHIMA 観光マップ



美しい白浜の続く睦プリンスビーチ



第46代横綱朝潮太郎記念像



貴重な資料が展示される郷土資料館



徳之島の海の玄関口「亀徳新港」



総合食品加工センター **みのり館**

総合食品加工センターみのり館が、2014年5月にオープンしました。みのり館では、地元でとれる果実や野菜（シークニン・マンゴー・パッション・ドラゴンフルーツ・パイナップル・生姜・島アザミ）等を使ったジュースやゼラート・ジャム、他にも島内産の豚やジャガイモ等を使ったご当地カレー、サトウキビのしぼり汁の糖蜜等を開発製造し販売しています。



物産コーナーでは、島内の製造加工業者の商品を多数取り揃え、産業の促進に努め、販売や島外送送も行っています。また、島外からの方に対しては、観光業務も行っています。





入学祝い
4月上旬
小学校入学式の日、親戚や親しい知人が新入生宅へ集まり、入学を祝います。



闘牛大会
ゴールデンウィーク
徳之島のチャンピオン牛を決定する全島大会の春場所。



漁なくさみ
6月中旬以降
追い込み漁などで魚を獲り、獲った魚を囲み、集落の仲間などで親睦を深めます。



送り盆
8月15日
亀津、亀徳地区では、送り盆を親戚ごとに墓の敷地内で飲食をする風習があります。



浜下り
8月20日頃
一重一瓶を備え、親族で浜に集まり、先祖の霊をなぐさめます。



ミーバマクマシ
浜下り時等
新生児の健康やかな成長を願い、赤ちゃんに海の水などを踏ませる風習。



七夕飾り
8月13・14日
島の迎え盆では祖先の霊を迎えるため、家々に七夕飾りがたなびきます。



転入職員歓迎会
4月上旬
本土から、転動してきた教職員等を郷土料理でもてなします。



黒砂糖まつり
5月5日
砂糖車や砂糖小屋での実演など、昔ながらの黒糖づくりの伝統を伝えるイベント。



豊年祭り
6月
花徳、山、手々、轟木地区では豊作祈願の願いを込めみこし行列が集落を練り歩きます。



闘牛大会
8月
徳之島のチャンピオン牛を決定する全島大会の夏場所。



ムチタボリ
8月15日
手々集落の伝統行事。白い布をまとった男性と、浴衣の女性が



ネンケ
8月20日頃
水をかけあい無病息災を願う、亀徳地区の伝統行事。



夏目おどり
8月20日頃
井之川集落の伝統行事。集落全戸周り、夜通し踊り歩きます。



田植え祭り
4月中旬
手々や井之川集落で行われている、稲作の伝統を今に伝える伝統行事です。



海びらき
5月5日
子どもの日に畦プリンスビーチで行われる海開きで、海の季節が始まります。



トライアスロン
6月中旬以降
島内をぐるっと一周する「トライアスロン in 徳之島」徳之島町はバイクコースです。



プールびらき
7月20日頃
流水プールやスライダーが完備された「レジャープール」夏休み期間オープンしています。



どんどんまつり
8月中旬
一年間で最大の祭り。打ち上げ花火やパレード、芸能大会が催されます。



ハーレー舟大会
8月中旬
山漁港で開催される舟こぎ競争。仲間や家族などで楽しめます。



ちゅっきやい節祭り
8月中旬
母間新港で開催される地元発祥の「ちゅっきやい節」を継承する祭り。

4月
April

5月
May

6月
June

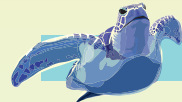
7月
July

8月
August

TOKUNOSHIMA



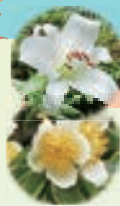
テンバイ開花



ウミガメ産卵



アカショウビン飛来



イジユ・ウケユリ開花



オカヤドカリ産卵



マンゴー収穫期間



イセエビ禁漁期間

たんかん収穫期間

ばれいしょ収穫期間

サトウキビ春植え時期

ソデイカ漁最盛期



敬老会

9月中旬

地域の高齢者の長寿を祝い、各地区で敬老会が行われます。



十五夜

9月中旬

各集落ごとに十五夜行事が開催され、綱引きや相撲などが行われます。



文化祭

11月初旬

展示や舞台発表など、一年間の文化活動が発表されます。



書き初め大会

1月上旬

徳之島3カ町で年初めに開催される書き初め大会。



成人祝い

1月2日

親戚や親しい知人が新成人宅に集まり、大人への門出を盛大に祝います。



ボランティア清掃

毎月第3日曜日

世界自然遺産登録を目指し、各地域ごとに清掃活動を行っています。自分の住む地域を慈しむ精神が根付いています。



アキムチ

9月中旬

尾母集落の伝統行事。どんどん節に合わせて歌い踊り、集落内を回ります。



運動会

9月～10月

保育園、幼稚園、小中学校、徳之島高校、高齢者など、運動会の季節です。



食と農林漁業の祭典

11月中旬

食や農林業に関する展示や実演が行われ、農林漁業に親むイベント。



出初式

1月5日

防災防火を呼びかけ、街中パレードや放水訓練、規律訓練などが行われます。



七草

1月7日

子どもの健やかな成長を願う風習。かゆをもらいに、七軒の家をまわります。



さくらウォーキング

2月上旬

ヒカンザクラを觀賞しながら健康づくりに取り組む毎年恒例のウォーキング大会。



スポーツ春合宿

2月～3月

徳之島の温暖な気候を利用し、様々な団体がスポーツ合宿に訪れます。



十五夜まつり

9月中旬

下久志集落の伝統行事。十五夜浜にあつまり、相撲や綱引きが行われます。



町民体育祭

10月中旬

町内11チームの幼児から高齢者が、力の限り各種目を競い合います。



町駅伝大会

11月中旬

島内11チームの小学生から一般人8名がタスキをつなぐ駅伝大会。



もちつき

12月中旬

各集落ごとにもちつきを行い、幼児から高齢者まで地域の親睦を深めます。



闘牛大会

1月

徳之島のチャンピオン牛を決定する全島大会の初場所。



島口・島唄の祭典

2月

島口や島唄を後世に継承するためイベント。島唄や島口漫談などが披露されます。



学士村塾閉講式

3月中旬

公民館などで学習を行う「学士村塾」は、4月から3月までの一年間開講されます。

9月
September

10月
October

11月
November

12月
December

1月
January

2月
February

3月
March

年中カレンダー

ウミガメ孵化



サキシマフヨウ開花



サシバ飛来

くじら回遊



ヒカンザクラ開花

アマミマルバネクワガタ活動時期

イボイモリ活動時期

オビトカゲモドキ活動時期

タニムラカンアオイ開花

テンバイ開花

ドラゴンフルーツ収穫期間

しょうが収穫期間

たんかん収穫期間

ばれいしょ収穫期間

サトウキビ夏植え時期

精糖期

サトウキビ春植え時期

ソデイカ禁漁期間

イセエビ漁最盛期

ソデイカ漁最盛期



山々の連なる井之川岳からの景色

自然 景観

平成 15 年、政府の検討会において、徳之島を含む琉球諸島が大陸との分離結合を繰り返した島々の成り立ちを反映した多様で固有性の高い生態系を有することと、絶滅危惧種の生息地として重要な場所として評価されたことにより世界自然遺産登録候補地として選定されました。

平成 25 年、政府として奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の 4 地域を世界自然遺産登録候補地として推薦することを決定し、4 地域において世界自然遺産登録を目指した動きが活発化しています。

日本では、屋久島、白神山地、知床、小笠原に続く 5 番目の世界自然遺産を目指しています。

～世界自然遺産登録に向けた取り組み～

- 外来植物の根絶に向けて
緊急対策外来種として指定されているアメリカハマグルマの駆除を地域住民の理解と協力を得ながら実施しています。
- 希少動物の事故防止を目指し
環境省や地元 NPO 団体による事故防止啓発看板の設置、町による核心地域での車両減速帯の設置や広報紙での注意喚起を行っています。
- 希少種を違法採取から守るために
町希少野生動植物保護推進員と昼夜を問わずパトロールを行い、違法採取者の把握に努めています。また、地元警察の協力も得ながら違法採取者への対応を行っております。
- アマミノクロウサギ捕食数 0 を目的に
山林域に生息するノネコや集落内に棲むノラネコを捕獲し不妊去勢手術などの対策を講じると同時に、ノラネコに対しみだりに餌を与えないなどの適正飼養条例を設けています。



アマミマルバネクワガタ

アマミノクロウサギ

タニムラカンアオイ

ウミガメの孵化



夏目踊り（井之川）



豊年祭り（花徳）



アキムチ（尾母）



田植え（井之川）



ムチタボリ（手々）

伝統文化

島を代表する伝統文化「闘牛」をはじめ、県指定の無形民俗文化財「井之川夏目踊り」など徳之島町には数多くの伝統文化が息づいています。

各集落では、祖先から伝わる地域色豊かな伝統行事が大切に受け継がれ、若者や子どもへ後継者の育成が図られています。

今後も、各集落の持つ魅力的な地域資源の発掘及び発揮に努めます。

学校教育

郷土が持つ恵まれた自然や風土、不撓不屈の精神や正直・勤勉等の人間性、かつて学士村と言われた向(好)学愛知の気風を生み出したヤンキチシキバンの子育て、積極進取の断髪精神等、よき伝統を生かした教育と新しい時代に求められる教育を推進します。

それにより、21世紀を高い学力と豊かな心、たくましい精神・体力をもって社会の変化に主体的に対応するとともに、広く国際性を備えた郷土を愛する品格のある町民の育成を目指します。

また子どもたちに「確かな学力」、「豊かな心」、「たくましい体力」を定着させるため、町民、特に保護者や子どもに関わる大人の教育に対する意識や関心を高めるとともに、家庭・地域の教育力向上に努めます。



積極的に授業に参加する子どもたち



栄養バランスのとれたおいしい給食



小学校と隣接した幼児教育

「学士村の再興による教育の町の創造」 ～あしたを拓き、あしたを創る心豊かで活力ある人づくり～



テレビ会議システムを利用した授業



鹿児島大学の学生を講師に招いた夏休みの向学塾

社会教育



芸術発表などを楽しみに沢山の観客が集まる「町文化祭」



貴重な資料が展示される町の郷土資料館



季節ごとの町立図書館おはなし会



盛んに行われているスポーツ少年団の活動



各種スポーツ団体の合宿や自主トレーニングの誘致

町内 11 地区で競う町民体育祭



健康 増進

稔りある豊かな人生をおくるための大切な基礎となる「健康」を守るため、乳幼児から高齢者までの各世代を対象に、各種検診や健康教育等の事業を実施、健康に対する意識の高揚を図っています。また、町民一人一人が主体的に自らの健康増進に取り組める地域づくりを推進するため、各種保健事業を展開しています。



安心して子どもを産み育てることできるように実施される母子健診



保健指導や健康教室で一人一人の健康をサポート



生命の源となる「食」に関連する各種事業



生活習慣病の発症予防・重症化予防のための特定健診



われんきゃ歯っぴいクラブでの話し合い



「ミニ健診」での細やかな健康指導

社会 福祉



介護予防や支えあい活動の充実につながる地域サロン

少子高齢化傾向が進む時代の流れの中、高齢者や障がい者、子どもなどすべての人が、生きがいのある安心して生活できる町づくりを進めています。

子どもを産み育てやすい環境の整備や介護予防、高齢者や障がい者の自立支援に努めたサービスの提供、各関係機関との連携を図っています。



障がい者の活躍の場のひとつである「福祉スポーツ大会」



乳幼児が健やかに成長できるように整備された保育環境



いつまでも安心して暮らせるように「認知症についての講演会」



高齢者が生き生きと活躍する「ねんりんスポーツ大会」



毎月第3日曜日に行われる町民によるボランティア清掃

生活環境

安心して日常生活が送れるよう、住環境及び交通網の整備、上下水道の保全に努めています。

また、平成22年3月に「ごみのポイ捨て及び飼養動物等のふん害の防止に関する条例」を制定し、人と環境にやさしいまちづくりを進めています。毎月第3日曜日のボランティア清掃やごみの分別回収や資源リサイクルを実施。町民と行政の協働により快適で美しい町の景観の形成を図っています。



下水処理作業が進められる町浄化センター



希少野生動物保護や環境保全に努めるネコのTNR事業



平成25年度増設された小郷住宅



町内全体に行き届いたゴミの分別回収

農林水産



毎年行われる共進会により水準の高い肉用牛が生産されています



活きの良い魚介類が取引されるセリ市



厳選な審査が行われるたんかん品評会



サトウキビが搬入される製糖工場



丁寧な手作業でのショウガの収穫

「農政」、「農産」、「糖業」、「畜産」、「林務水産」の5大柱を中心に、農林水産業の振興に取り組んでいます。

今後、徳之島ダムの水を利用した高収益作物の導入を進めるとともに、既存作物についても水利用効果を最大限に生かすことにより、収量と品質の安定に向けての品目の推奨を進め農業者の所得向上にも取り組んでいます。



町政運営について活発な議論が交わされる議場

議会

議会は定員 16 人で構成され、町政の運営方針や町民生活に連結する予算や条例などを審議し、議決するほか、陳情や請願などを審査して、町民の声の反映と監視を行っています。

議会は、年 4 回の定例会のほか、必要に応じ臨時会が開かれます。また、2つの常任委員会が設置され、必要に応じて特別委員会を置き、専門的な立場から調査や審議が行われています。



議長 福岡 兵八郎



副議長 池山 富良



当初予算が適正に組まれているか審議が進む予算査定



徳之島ダムでの現地調査



亀徳新港付近での清掃活動をおこなった議員ら

行政

本町は、「恵まれた自然と人情豊かな環境のもとで、健康をたかめ、産業をおこし、活力にみちた地域づくりに努め、健康と長寿のまちづくりを目指す」として、昭和60年に「健康のまち宣言」を行いました。

さらに、平成22年には、先人が残してくれた「固有のすばらしい自然」と「きむぎゅらさ（心美しさ）」を次世代に引き継ぐとして、「人と環境にやさしいまちづくり宣言」を行っています。

町民一人ひとりが主役となり、豊かな自然を守り育て、安全で快適な生活環境を形成するとともに、学び、暮らし、働き、集う全ての人々が自助・共助・公助の中で、個性と創造力を発揮する町づくりが目標です。

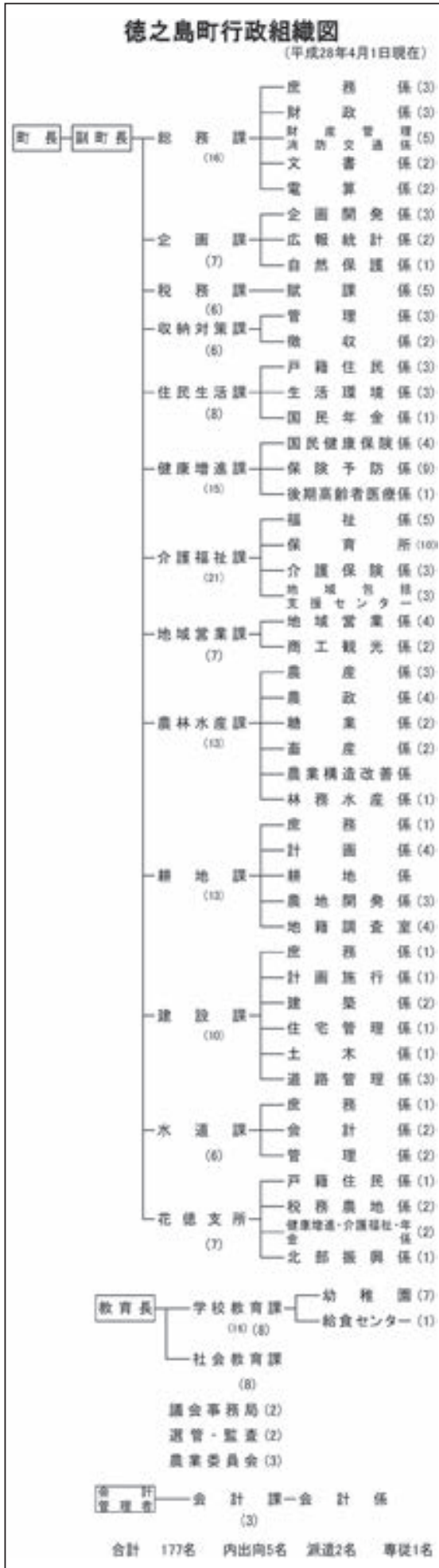
今後、町の長期計画に基づいた具体的な施策を実現できるように職員資質の向上を図り、時代の変化に対応できる組織作りを進め、町民の皆様と行政が一体となった町政実現に取り組んでまいります。



町長 高岡 秀規



副町長 幸野 善治





毎年町民に防火防災を呼び掛ける出初式

消防 防災

町民の生命の安全と財産を守るため、徳之島地区消防組合及び消防団では、設備の整備や防災訓練、住民への防火・防災意識の高揚と災害の未然防止に日々努めています。

東日本大震災をはじめとする、各地で頻発している集中豪雨等による大災害で甚大な被害が発生しています。徳之島町では、自然的・地勢的条件等を十分に勘案し、地域の実情に即したものとなるよう地域防災計画の見直しを行い、より実践的で有効的な計画の策定を目指しています。



3カ町合同防災訓練



AED講習会



離島緊急医療業務



消防操法を実演する徳之島地区消防団員



自主防災組織の強化育成（轟木集落での自主防災訓練）

資料編

目次

概要	18
人口・産業	19
財政	22
交通・通信	23
生活環境	24
社会福祉・保健衛生	25
教育・文化	29
歴代三役・議長	32
徳之島町のあゆみ	33
数字で見る町民生活	37
名誉町民	38

1. 概要

●沿革

明治41年の島嶼町村制施行により、徳之島全島が三カ村（亀津・天城・伊仙）に区画されました。大正5年には天城村が分割して新しく東天城村が発足し、徳之島は4カ村になりました。その後、昭和16年には亀津村が亀津町となりました。

昭和21年には本土と分離され、アメリカ軍行政下におかれました。昭和28年には日本行政下に返還され、再び東天城村、亀津町として県政下に加わりました。

昭和33年4月1日に亀津町と東天城村が合併して、徳之島町が発足、現在に至っています。平成20年には町政50周年を迎えました。

●位置・地勢・面積

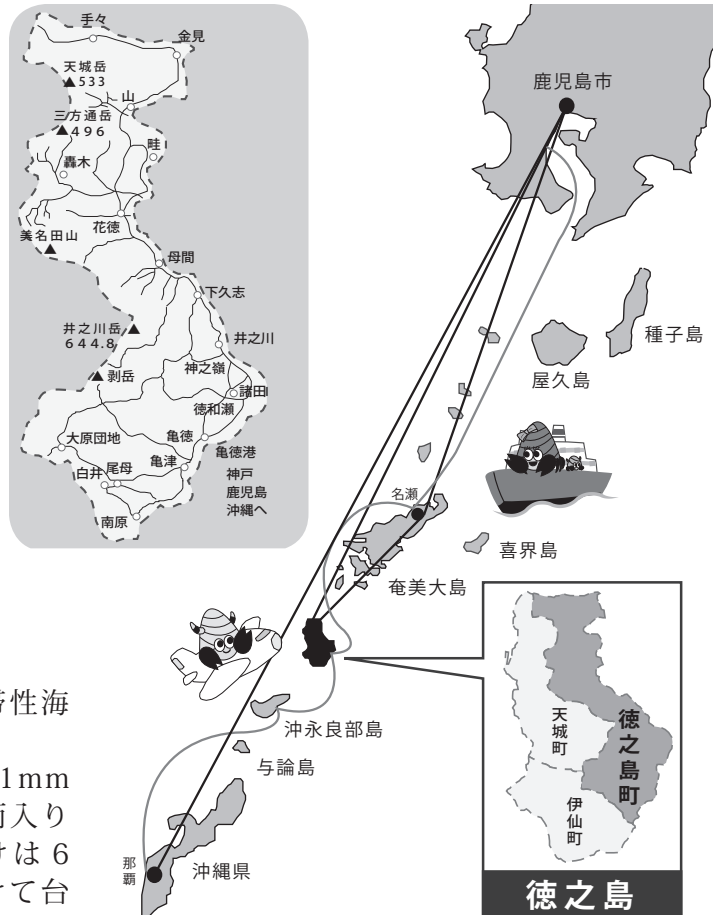
本町は、鹿児島島の南南西452km、太平洋と東シナ海の接線上に浮かぶ徳之島（周囲84km）の東面にあつて、東経129°、北緯27°45'（亀津）に位置しています。

太平洋に面した東海岸には、島をとりまくサンゴ礁が発達しており、干潮時には200～300mの沖合いまでも広大な地続きとなります。南は本川で伊仙町と接し、西は標高645mの井之川岳をはじめとして天城岳などの一連の山岳によって天城町と隣接し、北は東シナ海に面しています。面積は104.92km²、東西4.5km、南北22.9km、耕地面積2,330ha、林野面積5,549haなどとなっています。

●気象

本町の気候は、四季を通じ温暖多雨の亜熱帯性海洋気候です。

年間平均気温が21.9℃、年間降水量は1881mmで、日本でも有数の多雨地帯です。平年の梅雨入りは、本土より1か月早い5月上旬、梅雨明けは6月下旬です。また、毎年6月から10月にかけて台風が接近・通過して降雨をもたらします。



●平成27年月別の平均気温・降水量観測結果

奄美群島の概況

	平均気温 (℃)	平均最高気温 (℃)	平均最低気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (h)	平均風速 (m / s)
1月	14.8	17.9	11.9	8.0	103.7	2.9
2月	14.7	18.1	11.6	71.5	100.2	2.8
3月	17.2	20.6	14.4	152.0	137.8	3.0
4月	20.6	23.6	18.1	298.0	120.3	2.8
5月	23.0	26.1	20.5	177.0	115.3	2.6
6月	26.7	29.7	24.6	743.5	153.6	3.0
7月	27.9	30.8	25.6	663.5	202.0	4.3
8月	27.9	31.1	25.7	135.0	214.8	3.3
9月	26.7	30.2	24.1	51.5	196.6	2.5
10月	24.0	27.2	21.5	92.0	173.1	3.3
11月	22.1	25.1	19.7	98.5	131.7	2.8
12月	17.9	20.7	15.3	185.0	90.4	2.9
年間	22.0	25.1	19.4	2676.0	1739.5	3.0

2. 人口・産業

●徳之島町推計人口

平成 27 年 10 月 1 日現在

集落名	世帯数	人口	男	女	集落名	世帯数	人口	男	女
白井	1	2	1	1	池間	132	265	130	135
大原1	15	31	18	13	反川	117	220	114	106
大原2	8	12	6	6	大当	120	212	100	112
尾母	117	229	123	106	花時名	128	230	116	114
南原	13	27	5	22	前川	126	258	128	130
南区	932	2,358	1,146	1,212	新村	66	147	77	70
中区	459	1,008	510	498	上花徳	131	241	132	109
北区	500	1,136	540	596	轟木	101	203	103	100
東区	703	1,501	718	783	畦	18	34	14	20
亀徳	625	1,511	740	771	港川	67	150	69	81
徳和瀬	117	239	108	131	内千川	92	157	79	78
諸田	122	244	128	116	山里	35	58	31	27
神之嶺	16	37	20	17	金見	44	93	44	49
井之川	205	433	218	215	手々	61	157	66	91
旭ヶ丘	18	37	16	21					
下久志	81	163	81	82	合計	5,170	11,393	5,581	5,812

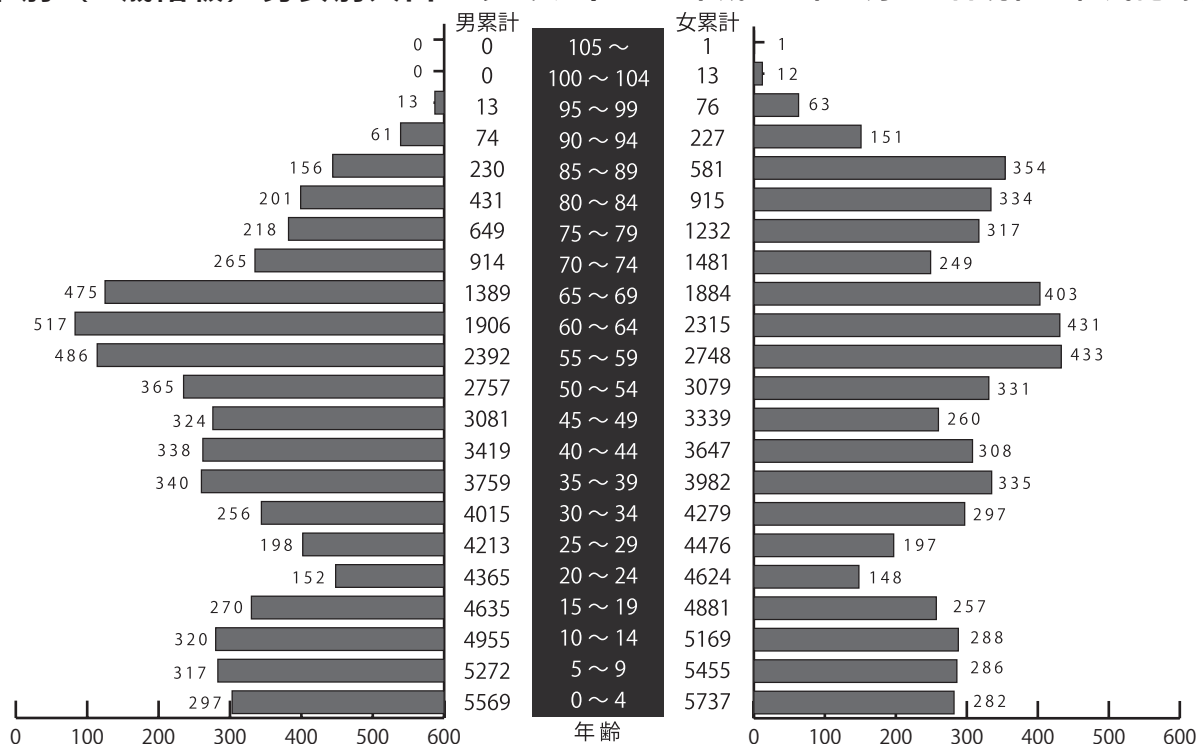
●人口動態

鹿児島県：県推計人口及び人口動態

年度	区分	自然動態人口			社会動態人口			増減
		出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
平成 23 年		115	180	- 65	743	828	- 85	- 150
平成 24 年		120	163	- 43	695	832	- 137	- 180
平成 25 年		109	178	- 69	685	732	- 47	- 116
平成 26 年		113	181	- 68	640	682	- 42	- 110
平成 27 年		126	187	- 61	648	815	- 167	- 228

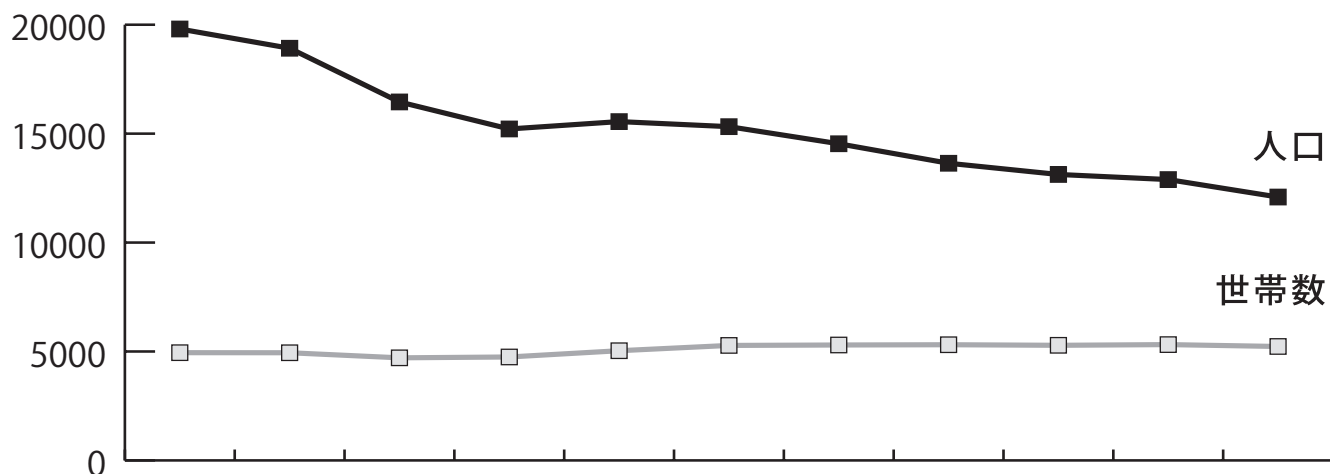
●年令別（5歳階級）男女別人口ピラミッド

平成 28 年 9 月 30 日現在：住民記録台帳



●人口と世帯数の推移

国勢調査結果：企画課



	昭和 40	昭和 45	昭和 50	昭和 55	昭和 60	平成 2	平成 7	平成 12	平成 17	平成 22	平成 27
人口	18,920	16,445	15,215	15,553	15,321	14,536	13,640	13,127	12,892	12,090	11,160
世帯数	4,942	4,709	4,748	5,035	5,287	5,298	5,317	5,286	5,316	5,230	4,960

●産業別就業人口

国勢調査結果：企画課

年度別	平成 7 年		平成 12 年		平成 17 年		平成 22 年	
	就業人口	割合	就業人口	割合	就業人口	割合	就業人口	割合
総数	5,743	100.0	5,486	100.0	5,422	100.0	5,203	100.0
第 1 次産業	1,415	24.6	994	18.1	1,006	18.5	895	17.2
農業	1,385	23.6	962	17.5	979	18.0	872	16.7
林業狩猟業	1	0.0	0	0.0	1	0.0	7	0.0
漁業・水産養殖業	56	1.0	32	0.6	26	0.4	16	0.0
第 2 次産業	959	16.7	986	18	794	14.6	679	13.0
鉱業	15	0.3	19	0.3	2	0.0	3	0.0
建設業	629	10.9	689	12.6	635	11.7	492	9.4
製造業	215	5.5	278	5.1	157	2.8	182	3.4
第 3 次産業	3,369	58.7	3,506	63.9	3,617	66.7	3,626	69.6
卸売業・小売業	1,223	21.3	1,149	20.9	867	15.9	771	14.8
金融保険・不動産業	95	1.6	105	1.9	102	1.8	108	2.0
運輸・通信業	257	4.5	252	4.6	173	3.1	181	3.4
電気・ガス・水道業	26	0.5	28	0.5	19	0.3	20	0.3
サービス業	1,477	25.7	1,570	28.6	2,178	40.1	2,178	41.8
公務	291	5.1	402	7.4	278	5.1	368	7.0
分類不能の産業	0	0.0	0	0.0	5	0.0	3	0.0

●経営規模別農家構成

2015 年農業センサス結果：企画課

	0.3ha 未 満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10	10ha 以 上~	合計
農家戸数	17	41	136	131	60	115	86	46	12	644

●さとうきび生産実績の推移

農林水産課

	平成 10 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年
生産量 (t)	73,195	64,828	55,271	62,357	73,109	77,220	87,425
単収 (kg)	6,841	5,416	4,594	5,664	6,032	6,061	6,777
面積 (ha)	1,070	1,197	1,203	1,101	1,212	1,274	1,290

	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
生産量 (t)	68,036	69,125	41,073	37,332	44,179	47,115	53,581
単収 (kg)	5,209	5,252	3,311	3,298	4,371	4,085	4,458
面積 (ha)	1,306	1,316	1,240	1,132	1,011	1,154	1,202

●平成 27 年度農畜産物生産実績

農林水産課

	作物名	栽培面積 (ha)	10a 当収量 (kg)	生産量 (t)	生産額 (千円)
耕種部門	さとうきび	1,202.00	4,458	53,581	1,194,106
	落花生	13.00	130.5	17	8,785
	自給野菜	44.60			91,686
	輸送野菜	249.10		4,127.8	794,724
	①石川さといも	9.50	842	80	34,000
	②ばれいしょ	223.00	1,670	3,724	689,871
	③しょうが	11.00	2,418	266	61,180
	④その他	5.60		58	40,273
	切花	0.80			3,695
	①ソリダコ	0.50	204	102	2,930
	②グラジオラス	0.20	4	8	344
	果樹	91.11			81,302
	①たんかん	63.90	394.4	252	79,002
	②マンゴー	2.90	410.3	11.9	29,750
	③バナナ	6.80	764.7	52	12,480
	④パパイヤ	6.00	466.7	28	1,680
⑤その他	11.40			17,596	

	品目	生産額 (千円)
畜産部門	畜産	1,175,828
	①肉用牛	1,127,156
	②豚	42,330
	③鶏卵	2,652
	④その他	3,690

農畜産物合計	経営耕地面積	2,092.65ha
	総生産額	3,431,983 千円

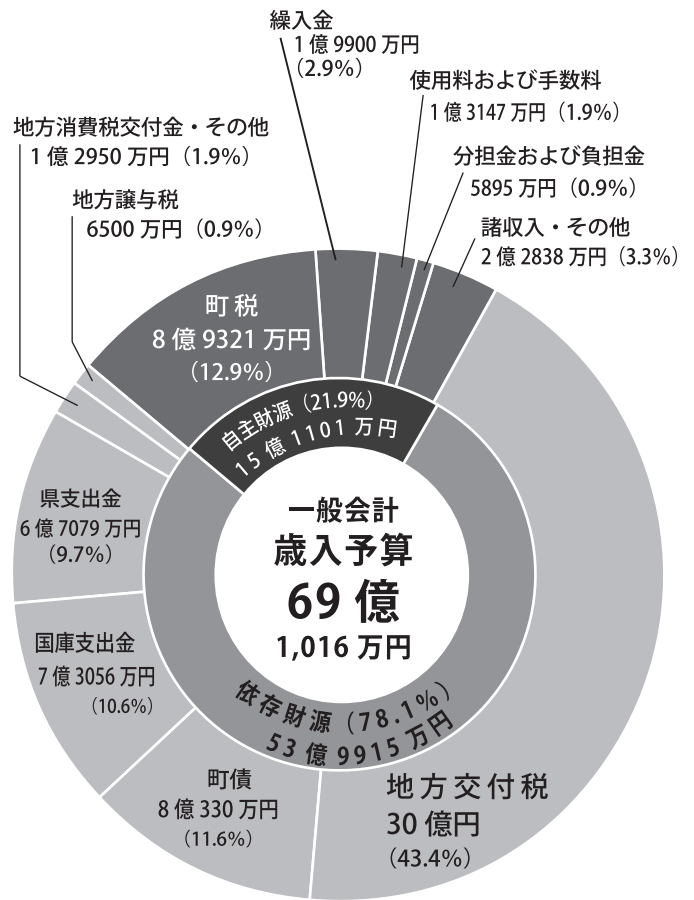
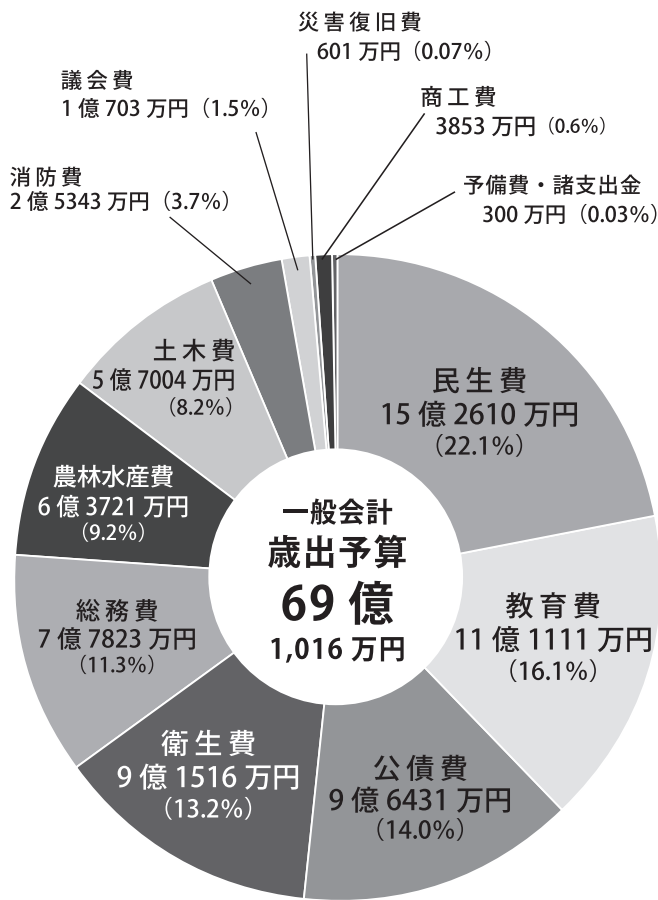
●魚種別漁獲高

農林水産課

魚種類	年度	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
		数量 (kg)	金額	数量 (kg)	金額	数量 (kg)	金額
サワラ		1,857	1,301,777	3,697	2,935,536	2,469	1,973,407
カツオ		1,045	449,217	2,321	1,358,752	1,292	1,068,028
シビ		2,826	1,296,666	7,848	5,322,846	2,969	2,396,421
メバチ		1,057	1,513,265	1,822	3,650,662	785	1,095,084
キハダ		838	585,991	959	710,442	2,869	1,708,567
チビキ		8,017	14,255,733	8,302	14,817,374	5,873	11,239,842
ホタ類		5,917	6,340,997	5,390	6,297,649	4,552	5,690,094
金目ダイ		1,510	1,517,078	2,025	2,328,885	1,305	1,383,016
イセエビ		983	2,993,686	1,400	3,920,905	1,243	3,725,512
夜光貝		744	1,337,623	1281	2,206,619	1,424	2,467,861
イカ類		44,367	27,667,915	45,663	32,204,454	37,749	39,775,548
合計		69,160	59,259,948	80,708	75,754,124	62,529	72,523,380

3. 財政

●平成 27 年度一般会計当初予算



●平成 27 年度特別会計当初予算 (単位：千円)

会計種別	予算額
国民健康保険特別会計	2,014,880
介護保険事業特別会計	1,139,590
後期高齢者医療特別会計	117,715
公共下水道事業特別会計	172,796
簡易水道事業特別会計	579,109
農業集落排水事業特別会計	15,560
地域包括支援センター事業特別会計	2,076
上水道事業会計	179,366
合計	4,221,092

●町民一人あたりに使われる予算 (円)

民生費	135,437
教育費	98,608
公債費	85,580
衛生費	81,218
総務費	69,065
農林水産費	56,550
土木費	50,589
消防費	22,491
議会費	9,499
商工費	3,420
災害復旧費	533
その他	265
合計	613,255

●一般会計歳入歳出決算の推移 (単位：千円)

歳入	年度	歳出
6,067,635	平成 20 年度	5,979,396
6,881,384	平成 21 年度	6,640,144
8,037,414	平成 22 年度	7,681,545
7,505,517	平成 23 年度	7,297,220
7,339,785	平成 24 年度	6,965,387
8,185,032	平成 25 年度	7,938,551
7,878,191	平成 26 年度	7,658,709

町民一人が負担する
町税 79,270 円



4. 交通・通信

●道路概況

1. 県道

平成 27 年度鹿児島県道路概況調査

路線番号	路線名	実延長 (m)	改良済 (m)	率 (%)	うち橋梁		自動車通行不能延長
					個数	延長	
80	伊仙・亀津・徳之島空港線	38,653	38,653	100	28	453	0
83	伊仙・天城線	18,902	17,099	90.46	6	740	0
617	糸木名・亀津線	11,809	11,146	94.39	5	146	0
618	松原・轟木線	6,246	5,565	89.10	3	45	0
625	亀徳・港線	67	67	100	0	0	0
629	花徳・浅間線	22,989	22,989	100	10	138	0
	総計	98,666	95,519	96.83	52	1,522	0

2. 一級町道

建設課

	実延長	舗装延長	舗装率	規格改良済		未改良	
				5.5 m以上	4 m以上	3.5 m以上	3.5 m未満
平成 23	27,004	26,917	99.67	6,986	10,513	0	1,336
平成 24	27,004	26,917	99.67	6,986	10,513	0	1,336
平成 25	26,952	26,952	100	12,289	7,625	0	298
平成 26	26,740	24,461	91.47	7,676	7,625	1,381	1,273
平成 27	26,740	24,461	91.47	7,676	7,625	1,381	1,273

3. 二級町道

建設課

	実延長	舗装延長	舗装率	規格改良済		未改良	
				5.5 m以上	4 m以上	3.5 m以上	3.5 m未満
平成 23	15,950	14,439	90.52	200	2,584	242	5,986
平成 24	15,950	14,439	90.52	200	2,584	242	5,986
平成 25	16,677	12,499	74.94	212	2,768	242	5,986
平成 26	16,375	14,496	88.52	1,576	2,768	242	5,547
平成 27	16,375	14,495	88.44	1,576	2,768	222	5,547

4. その他町道

建設課

	実延長	舗装延長	舗装率	規格改良済		未改良	
				5.5 m以上	4 m以上	3.5 m以上	3.5 m未満
平成 23	236,382	187,313	79.24	27,793	62,631	1,957	67,441
平成 24	236,382	187,313	79.24	27,793	62,631	1,957	67,441
平成 25	238,043	173,259	72.78	28,460	67,190	4,040	67,921
平成 26	235,940	175,732	74.48	31,652	67,481	3,672	55,845
平成 27	237,482	177,378	73.38	32,996	67,592	3,734	54,656

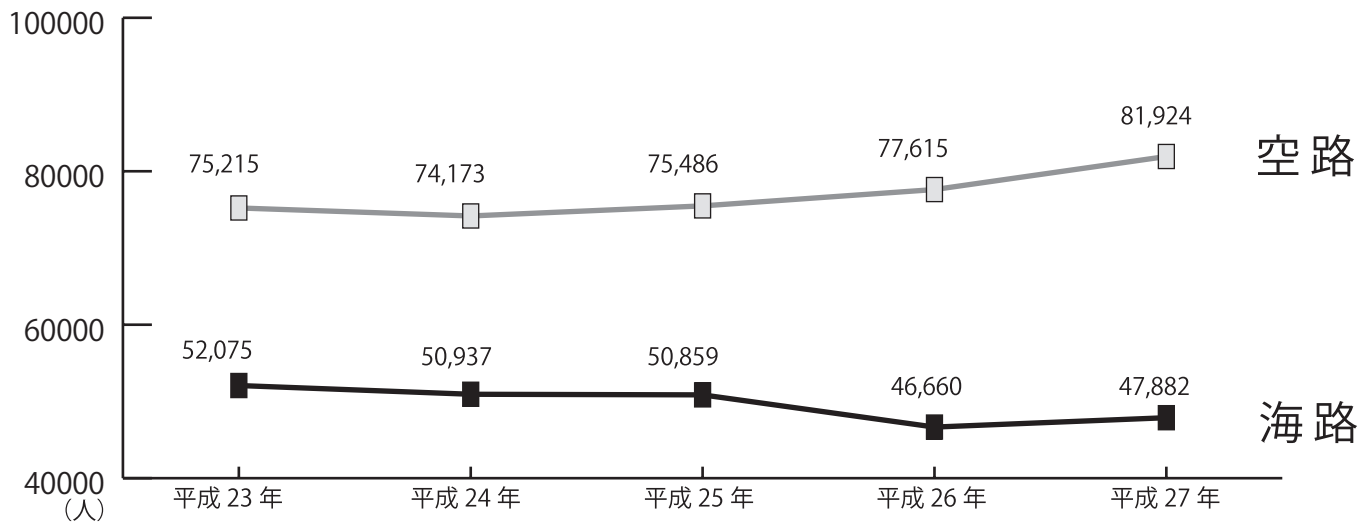
●自動車保有台数

平成 27 年 3 月末現在：奄美群島の概況

	貨物			乗合		乗用		特種(殊)用			小型 二輪	軽自動車			合計
	普通	小型	被牽引	普通	小型	普通	小型	普通	小型	大特殊		貨物	乗用	特種	
自家用	210	458	1	0	10	397	988	131	21	180					2396
営業用	145	27	13	6	5	5	40	41	3	0					285
計	355	485	14	6	15	402	1,028	172	24	180	73	2,995	3,456	42	6,493

●海空路別入込客数（単位／人）

奄美群島観光の動向



5. 生活環境

●水道普及率

水道課

	上水道			簡易水道			合計			普及率	飲料水供給施設		
	箇所数	水人口 計画給	口給水人	箇所数	水人口 計画給	口給水人	箇所数	水人口 計画給	口給水人		箇所数	水人口 計画給	口給水人
23	1	9,100	8,465	9	4,863	2,956	10	13,963	11,421	96.1	2	158	83
24	1	9,100	8,367	9	4,863	2,852	10	13,963	11,952	96.0	2	158	81
25	1	9,100	8,345	1	3,234	2,777	2	12,334	11,122	96.6	0	0	0
26	1	9,100	8,315	1	3,234	2,723	2	12,334	11,038	96.8	0	0	0
27	1	9,100	8,154	1	3,234	2,644	2	12,334	10,798	96.6	0	0	0

●下水道普及率

建設課

	普及戸数 (戸)	普及人数 (人)	普及率 (%)	水洗化戸数 (戸)	水洗化人口 (人)	水洗化率 (%)
平成 23 年度	973	1,985	16.78	166	398	20.05
平成 24 年度	1,020	2,086	17.86	226	520	24.93
平成 25 年度	1,034	2,106	18.28	332	816	38.74
平成 26 年度	1,105	2,223	19.49	409	877	39.45
平成 27 年度	1,115	2,239	20.03	449	907	40.51

※普及率 = 普及人口 / 行政人口
普及人口（下水道の整備されている人口）

※水洗化率 = 水洗化人口 / 普及人口
水洗化人口（下水道を使用している人口）

●公営住宅戸数調べ

平成 27 年 4 月 1 日現在：建設課

団地名	公営住宅		教員住宅		所在地	団地名	公営住宅		教員住宅		所在地
	戸数	備考	戸数	備考			戸数	備考	戸数	備考	
尾母	10		1		尾母	井之川	8		2		井之川
混岸	22				南区	下久志					下久志
川田	6				北区	池間	4				母間
満久里	18				〃	母間	8		5		〃
第二満久里	42				〃	反川	2				〃
婦貴田	22				〃	大当	6				〃
安住寺	10				〃	花徳	10		2		花徳
大船町	56		14		東区	上花徳	2				〃
里晴	14				亀徳	轟木	14		4		轟木
港ヶ丘	60				〃	兼久田	1				山
阿多野平	84		3		〃	山	8		5		〃
小郷	84				〃	内川	5				〃
九年母	2				〃	千屋	4				〃
諸田	4				諸田	港川	6				〃
徳和瀬	4				徳和瀬	手々	4				手々
神之嶺			5		神之嶺	計	513		41		〃

6. 社会福祉・保健衛生

●被保護世帯

平成 27 年 4 月 1 日現在：大島支庁徳之島事務所

年度	総世帯数	被保護世帯数	総人口	被保護人口
平成 24 年度	5,279	371	11,811	551
平成 25 年度	5,252	357	11,632	520
平成 26 年度	5,204	350	11,516	498

●保護費の状況

(支給額単位：千円)

年度	区別	生活	住宅	教育	医療	出産	生業	葬祭	介護	計
平成 24	件数	3,996	2,367	404	4,074	0	205	4	911	4,446
	(人数)	(5,975)	(3,819)	(667)	(5,582)	(0)	(297)	(4)	(926)	(6,617)
	支給額	247,587	53,042	6,401	380,816	0	4,033	1,594	15,999	709,472
平成 25	件数	3,778	2,337	369	4,045	4	211	10	904	4,285
	(人数)	(5,551)	(3,611)	(649)	(5,451)	(4)	(259)	(10)	(923)	(6,240)
	支給額	223,964	46,389	6,401	348,037	1270	4,033	2,186	15,235	647,246
平成 26	件数	3,665	2,255	352	4,021	1	229	2	922	4,194
	(人数)	(5,249)	(3,429)	(565)	(5,445)	(1)	(297)	(2)	(925)	(5,980)
	支給額	219,512	45,088	5,566	327,358	246	3,576	348	15,892	617,585

●平成 27 年度年金受給者給付状況

住民生活課

	老齢給付	障害給付	遺族年金	老齢福祉年金	総計
受給権者(人)	2,988	378	39	4	3,409
年金額(円)	1,629,726,769	324,139,350	28,803,500	432,100	1,983,101,719

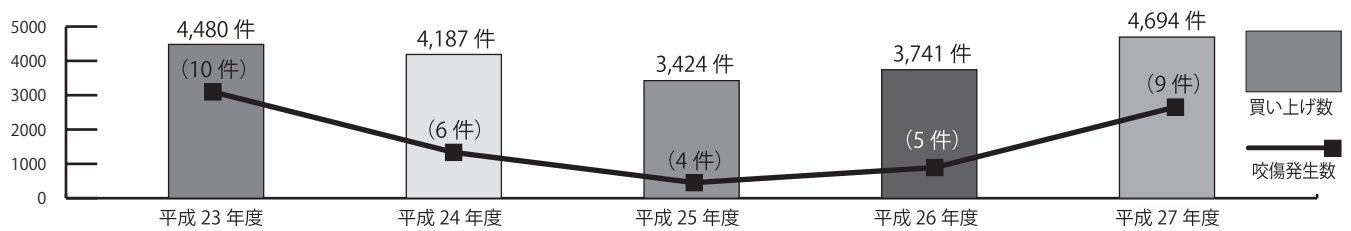
●平成 27 年度生きハブ買い上げ及び咬傷発生状況

住民生活課

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
買い上げ	373	747	1,000	683	344	446	467	255	123	54	39	153	4,694
咬傷	0	0	0	1	1	0	3	2	1	1	0	0	9

●生きハブ買い上げ及び咬傷発生の推移

住民生活課



●社会福祉施設状況

施設の種類の	施設名	設置者名	定員	設置・指定年月日
特別養護老人ホーム	徳寿園	社会福祉法人 愛心会	80 人	2011 年 4 月 1 日
〃	南風園	社会福祉法人 奄美同仁会	30 人	2001 年 4 月 4 日
介護老人保健施設	サザンコート	医療法人南溟会	29 人	2011 年 10 月 1 日
地域密着型特定施設	有料老人ホーム 白寿苑	有限会社ソフィア・インターナショナル	29 人	2010 年 4 月 20 日
グループホーム	グループホームたんぽぽの家	有限会社ウィル	18 人	2006 年 4 月 1 日
〃	グループホーム港ヶ丘	有限会社ソフィア・インターナショナル	9 人	2006 年 4 月 1 日
軽費老人ホーム	いこいの里	社会福祉法人 奄美同仁会	22 人	
施設入所支援	障害者支援施設徳州園	社会福祉法人 南恵会	40 人	2008 年 7 月 1 日
共同生活援助施設	うんばた	財団法人 慈愛会	12 人	2006 年 10 月 1 日
共同生活介護施設	グループホーム ライフ	社会福祉法人 南恵会	6 人	2009 年 5 月 1 日
〃	グループホーム みなみ	社会福祉法人 南恵会	6 人	2009 年 5 月 1 日
〃	グループホーム 葵	社会福祉法人 南恵会	6 人	2009 年 5 月 1 日
保育所(園)	町立母間保育所	徳之島町	60 人	
〃	亀津保育園	社会福祉法人 宏徳福祉会	100 人	
〃	亀徳保育園	社会福祉法人 秋津福祉会	100 人	

●国民健康保険給付状況

健康増進課

	被保険者数	件数	費用額(円)	一人当たり費用額(円)	助産費(円)	葬祭費(円)	高額医療費	
							件数	支出額(円)
平成 23 年度	4,665	36,066	1,219,750,082	261,468	14,280,000	280,000	1780	145,624,061
平成 24 年度	4,571	35,790	1,225,806,947	268,170	15,960,000	280,000	1797	143,339,313
平成 25 年度	4,480	35,080	1,336,094,985	298,235	14,700,000	260,000	1974	164,173,138
平成 26 年度	4,335	34,005	1,259,974,442	290,651	12,990,000	290,000	1948	156,608,322
平成 27 年度	4,190	35,888	1,283,532,218	306,332	9,660,000	320,000	2,002	161,267,921

●後期高齢者医療療養給付状況

健康増進課

	被保険者数	件数	費用額 (円)	一人当たり 費用額 (円)	療養給付給付額 (円)	療養費給付額 (円)	葬祭費 (円)
平成 23 年度	1,949	31,373	1,510,297,758	707,607	5,805,182	51,035,878	2,240,000
平成 24 年度	1,914	30,390	1,387,088,763	660,952	3,966,101	44,069,608	2,320,000
平成 25 年度	1,884	29,351	1,480,889,582	722,200	4,347,538	51,444,922	2,220,000
平成 26 年度	1,846	28,804	1,507,636,274	749,655	5,117,335	54,910,853	2,700,000
平成 27 年度	1,814	30,182	1,499,376,133	735,700	5,444,463	53,710,487	2,400,000

●介護保険者数及び認定者数

介護福祉課

	第 1 号保険者			認定者			
	65 歳以上	65 歳以上 75 歳未満	75 歳以上	第 1 号保険者	65 歳以上 75 歳未満	75 歳以上	2 号保険者
平成 23 年度	3,187	1,142	2,045	625	41	584	21
平成 24 年度	3,244	1,227	2,017	637	49	588	20
平成 25 年度	3,273	1,285	1,988	610	44	566	18
平成 26 年度	3,278	1,318	1,960	577	43	534	16
平成 27 年度	3,287	1,370	1,917	547	49	498	17

●主な死因別死亡状況

徳之島保健所

	脳血管疾患	心疾患	肺炎	悪性新生物	老衰	不慮の事故	新生児死亡	結核	自殺	その他	計
平成 22 年	18	17	15	26	3	7	0	0	4	54	144
平成 23 年	11	18	17	32	10	12	0	0	2	61	163
平成 24 年	15	14	22	31	20	10	0	0	2	63	177
平成 25 年	25	24	19	26	21	7	0	1	2	47	172
平成 26 年	17	22	16	37	36	8	1	0	4	45	186

●平成 27 年度保健予防事業実施状況

1. 母子保健事業

妊婦健診	受診実人員		受診延べ人員	
妊婦健診	175		1352	
乳幼児検診	対象者	受診者	受診率	対象者区分
3～4ヶ月健診	111	110	99.1	3～4ヶ月児
6～7ヶ月健診	123	118	96.0	6～7ヶ月児
9～11ヶ月健診	114	77	67.5	9～11ヶ月児
1歳半健診	120	114	95.0	1歳半～2歳未満
3歳児健診	103	94	91.3	3歳～4歳
相談・教育事業	回数	参加実数	延人数	対象者
母子相談	12	104	104	母子手帳発行時
母親(両親)学級	8	12	17	妊婦
親子教室(育児サークル)	34	52	412	0歳～入園前親子
新生児・乳児訪問	111	106	111	

1-2. 歯科保健事業

歯科検診	対象者	受診者	受診率
1歳6ヶ月児	120	114	95.0
2歳児	112	66	58.9
2歳6ヶ月児	121	64	52.9
3歳児	104	95	91.3
5歳児	117	50	42.7
歯科相談	回数	受診者	
1歳～7歳児	12	262	
妊婦	12	23	
一般	12	1	

2. 健康増進事業

・各種健康診査の受診率の推移（％）

健診項目	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	対象者区分
胃がん検診	10.8	10.5	10.4	9.3	8.5	40 歳以上
大腸がん検診	12.7	13.6	14.9	14.1	14.5	40 歳以上
肺がん検診	14.3	12.8	11.9	12.8	14.8	40 歳以上
子宮がん検診	27.2	28.6	23.0	21.6	33.7	40 歳以上
乳がん検診	23.1	23.7	24.4	23.8	8.8	40 歳以上 70 歳未満
健康相談・教育	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	内容
健康教育（回）	33	32	32	35	17	がん・生活習慣病・歯周疾患に関する健康教育
健康相談（回）	10	10	10	10	10	歯周疾患に関する重点健康相談

3. 予防関係事業

母子検診	対象者 （人）	受診者 （人）	受診率 （％）	対象者区分
結核健診	2915	1455	49.9	65 歳以上
D T P - IPV（全 4 回）	547	454	83.0	生後 3 月から 90 月
ポリオ（生ポリオ）	50	21	42.0	生後 3 月から 90 月
MR（1 期）	137	119	86.9	12 ヶ月～ 24 ヶ月未満
MR（2 期）	111	103	92.8	5 歳以上 7 歳未満
水痘ワクチン（第 1 回）	150	85	56.7	1 歳～ 3 歳（平成 26 年度のみ 3 歳～ 5 歳）
水痘ワクチン（第 2 回）	161	117	72.7	1 歳～ 3 歳
B C G	125	120	96.0	生後 5 月～ 12 月
DT（二種混合）	110	83	75.5	11 歳～ 12 歳
日本脳炎（第 1 期）	481	309	64.2	生後 36 月～ 90 月
日本脳炎（第 2 期）	90	59	65.6	9 ～ 13 歳未満
ヒブワクチン	543	462	85.1	生後 2 月～ 60 月
小児用肺炎球菌ワクチン	587	470	80.1	生後 2 月～ 60 月
高齢者肺炎球菌	653	147	22.5	65 歳以上
インフルエンザ	3338	1832	54.9	65 歳以上

7. 教育・文化

●歴代教育長

初代	直江光良 (昭和28年12月25日～昭和29年6月17日)
2代	嘉山 登 (昭和29年6月18日～昭和41年12月25日)
3代	堀田 寛 (昭和41年12月26日～昭和44年6月30日)
4代	村岡生三 (昭和44年8月13日～昭和47年7月3日)
5代	安 健助 (昭和47年7月10日～昭和54年9月30日)
6代	久原秀雄 (昭和55年1月2日～平成4年12月31日)
7代	太 光延 (平成5年1月1日～平成10年7月17日)
8代	吉野吉明 (平成10年7月18日～平成15年6月30日)
9代	富澤洋夫 (平成15年7月1日～平成18年6月30日)
10代	秋武喜一郎 (平成18年7月1日～現在に至る)

●幼稚園 平成27年5月1日現在

幼稚園名	所在地	園児数	教諭数
山幼稚園	山	休園	—
花徳幼稚園	花徳	10	2
亀徳幼稚園	亀徳	41	4
亀津幼稚園	亀津	44	4

●保育所 平成27年5月1日現在

保育所名	所在地	園児数	教諭数
手々保育所	手々	休園	—
轟木保育所	轟木	休園	—
下久志保育所	下久志	休園	—
井之川保育所	神之嶺	28	2
尾母保育所	尾母	32	2
母間保育所	母間	54	6
亀徳保育所	亀徳	109	18
亀津保育所	亀津	114	17

●小学校

平成27年5月1日現在：教育委員会

学校名	児童数												職員数	学級数	
	総数	1年		2年		3年		4年		5年		6年			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男			女
尾母小学校	13	0	0	2	0	1	0	1	2	2	1	3	1	8	3
亀津小学校	415	27	42	34	27	47	35	33	27	38	40	31	34	29	18
亀徳小学校	145	13	15	17	12	12	12	10	6	9	15	9	15	14	7
神之嶺小学校	71	7	10	4	4	9	5	8	4	6	4	6	4	14	8
下久志分校	休校														
母間小学校	35	5	1	2	5	3	1	4	2	3	2	3	4	10	5
花徳小学校	32	1	1	4	2	2	3	3	1	3	4	6	2	8	3
山小学校	21	5	1	1	1	0	2	1	1	0	5	2	2	8	3
手々小学校	8	0	0	0	0	0	3	1	0	1	1	0	2	4	2
計	740	58	70	64	51	74	61	61	43	62	72	60	64	95	49

●中学校

平成27年5月1日現在：教育委員会

学校名	児童数							職員数	学級数
	総数	1年		2年		3年			
		男	女	男	女	男	女		
尾母中学校	6	0	2	2	0	0	2	5	2
亀津中学校	259	39	44	47	35	49	45	26	11
井之川中学校	28	5	9	5	1	5	3	14	4
東天城中学校	47	10	5	10	11	7	4	13	4
山中学校	18	1	3	3	4	4	3	11	3
手々中学校	4	2	0	0	0	2	0	4	1
計	362	57	63	67	51	67	57	73	25

●中学校卒業後の進路状況

平成 27 年 5 月 1 日現在：教育委員会

年度	卒業生総数			進学者 (B)	就職者 (C)	就職進学者 (D)	訓練施設等 専修各種	無職業・ その他	進学率%	就職率%
	男	女	計 (A)						$\frac{B+D}{A} \times 100$	$\frac{C+D}{A} \times 100$
平成 22	70	62	132	131	1	0	0	0	99.2%	0.8%
平成 23	68	63	131	127	3	0	0	1	96.9%	2.3%
平成 24	73	78	151	150	0	0	0	1	99.3%	0.7%
平成 25	60	60	120	117	1	0	0	2	97.5%	0.8%
平成 26	63	58	121	119	1	0	0	1	98.3%	0.8%
平成 27	68	57	125	120	1	0	0	4	96.0%	0.8%

●徳之島高等学校の現勢

平成 27 年 4 月 1 日現在：徳之島高校

科別 学年	普通科			総合学科			計
	男	女	合計	男	女	合計	
1 年	37	47	84	20	10	30	114
2 年	30	62	92	22	7	29	121
3 年	36	60	96	18	17	35	131
合計	103	169	272	60	34	94	366

●徳之島高等学校卒業後の進路状況

平成 27 年 4 月 1 日現在：徳之島高校

進路 年度卒	総 数						男					女				
	卒業生	進学	就職・ 進学	就職	各種専 門学校	自営・ その他	進学	就職・ 進学	就職	各種専 門学校	自営・ その他	進学	就職・ 進学	就職	各種専 門学校	自営・ その他
平成 26	121	46	0	13	60	2	21	0	9	34	1	25	0	4	26	1
平成 27	130	46	0	16	65	3	18	0	10	25	1	28	0	6	40	2

●町立図書館図書購入費・蔵書冊数

町立図書館

人 口	平成 27 年度 図書購入当初予算	一人あたりの 図書購入費	平成 27 年度		
			蔵書冊数	一人あたりの 蔵書冊数	購入冊数
11,160 人	1,000,000 円	89.6 円	70,826 冊	6.3 冊	788 冊

●徳之島町指定文化財

平成 28 年 3 月末現在：社会教育課

No.	分類	所在地	文化財名称	指定年月日
1	有形文化財	町郷土資料館	ノロの免状及び同関係文書	S42.6.28
2	〃	〃	奥山家系図	〃
3	〃	〃	宗門手札改帳	〃
4	〃	〃	トンダフ一式	〃
5	記念物	山	榕樹の巨木	〃
6	有形文化財	町郷土資料館	琉球漆器	〃
7	〃	〃	郷土格免許辞令書	S51.11.29
8	〃	花徳	トンダフ一式	〃
9	〃	井之川	宗門手札	〃
10	民俗文化財	亀津	亀津浜おどり保存会	〃
11	〃	尾母	尾母浜おどり保存会	〃
12	〃	井之川	井之川夏目おどり保存会	〃
13	〃	手々	手々民芸保存会	〃
14	〃	亀津	高千穂神社	〃
15	〃	〃	菅原神社	〃
16	〃	〃	松原神社	〃
17	〃	〃	護国神社	〃
18	〃	〃	穴八幡神社	〃
19	〃	〃	秋葉神社	〃
20	〃	亀徳	秋津神社	〃
21	〃	徳和瀬	白峯神社	〃
22	〃	井之川	八幡神社	〃
23	〃	〃	蛭子神社	〃
24	〃	亀津	古勝森	〃
25	〃	井之川	アムトガナシ	〃
26	〃	〃	アムトガナシ	〃
27	〃	〃	カンジャ神さん	〃
28	〃	〃	カンジャ神さん	〃
29	〃	〃	カンジャ神さん	〃
30	〃	〃	屋敷神さん	〃
31	〃	〃	テンナゴ屋敷の力石神さん	〃
32	〃	〃	フーシンコ岩神さん	〃
33	〃	〃	チンチンガナシ	〃
34	〃	〃	火の神さん	〃
35	〃	〃	イビガナシ	〃
36	〃	〃	アトムガナシ	〃
37	記念物	手々	アジ墓	〃
38	〃	〃	大八の力石	〃
39	民俗文化財	下久志	下久志棒踊保存会	S63.10.15
40	〃	母間	池間棒踊保存会	〃
41	記念物	神之嶺	カンニンウシシギヤ墓	H10.6.3
42	〃	諸田	シキントー墓	〃

8. 歴代三役・議長

●歴代町村長

【旧 亀津町】

区分	氏名	就任月日	退職月日
戸長	安田 佐和忠	明治 8 年	
2	亀 藤盛	明治	
3	福沢 福祐	明治 12 年	
4	井 義美屋	明治 16 年	
5	福直 静志	明治 19 年	
6	山 徳峰	明治 20 年	
7	福沢 徳重	明治 27 年	
8	平野 益友	明治 31 年	
9	吉満 義志信	明治 35 年	
村長	永野 孫七	明治 41 年 9 月 2 日	大正元年 9 月 1 日
2	山田 良太郎	大正元年 9 月 2 日	大正 4 年 5 月 4 日
3	福沢 徳重	大正 4 年 5 月 4 日	大正 10 年 6 月 1 日
4	坂 敏雄	大正 10 年 7 月 7 日	大正 15 年 3 月 19 日
5	福岡 富隆	大正 15 年 10 月 30 日	昭和 5 年 10 月 29 日
町長	亀沢 道喜	昭和 5 年 11 月 29 日	昭和 19 年 2 月
2	平野 安陽	昭和 20 年 7 月 7 日	昭和 21 年 5 月 10 日
3	秋武 喜祐治	昭和 21 年 5 月 11 日	昭和 23 年 6 月 30 日
4	亀沢 道喜	昭和 23 年 7 月 1 日	昭和 31 年 9 月 6 日
5	秋武 喜祐治	昭和 31 年 9 月 7 日	昭和 33 年 3 月 31 日

【旧 東天城村】

区分	氏名	就任月日	退職月日
1	池畑 納善	大正 5 年 5 月 20 日	大正 6 年 6 月
2	榊 為良	大正 7 年 6 月 15 日	大正 8 年 8 月
3	鶴田 義嶺	大正 8 年 9 月 26 日	大正 13 年 8 月 2 日
4	土持 里孝	大正 13 年 8 月 14 日	大正 14 年 10 月 17 日
5	鶴田 義嶺	大正 14 年 11 月 18 日	昭和 4 年 7 月 10 日
6	池畑 納善	昭和 4 年 11 月 4 日	昭和 6 年 1 月 26 日
7	中島 佐衛春	昭和 6 年 2 月 7 日	昭和 8 年 6 月 4 日
8	吉村 佐衛豊	昭和 8 年 9 月 9 日	昭和 12 年 7 月
9	前田 前照	昭和 12 年 7 月 7 日	昭和 19 年 7 月
10	直島 直治	昭和 19 年 8 月 22 日	昭和 21 年 4 月
11	上野 七郎	昭和 21 年 9 月 5 日	昭和 22 年 6 月
12	重村 一郎	昭和 22 年 7 月 3 日	昭和 24 年 7 月
13	上野 親二	昭和 24 年 8 月 16 日	昭和 24 年 10 月 25 日
14	内田 寿忠	昭和 25 年 12 月 13 日	昭和 29 年 12 月 13 日
15	山口 清秀	昭和 29 年 12 月 16 日	昭和 33 年 3 月 31 日

【徳之島】

町 長

初代～五代	秋武 喜祐治	昭和 33 年 4 月 22 日就任	昭和 53 年 4 月 21 日退任
六代	直島 秀良	昭和 53 年 4 月 22 日就任	昭和 55 年 8 月 11 日退任
七代	新田 成良	昭和 55 年 8 月 17 日就任	昭和 59 年 8 月 16 日退任
八代～十一代	高岡 善吉	昭和 59 年 8 月 17 日就任	平成 11 年 6 月 24 日退任
十二代～十三代	勝 重藏	平成 11 年 7 月 26 日就任	平成 19 年 7 月 24 日退任
十四代～	高岡 秀規	平成 19 年 7 月 25 日就任	現在に至る

助 役

初代	直島 秀良	昭和 33 年 6 月 11 日就任	昭和 37 年 6 月 11 日退任
二代	勝 元行	昭和 37 年 6 月 12 日就任	昭和 40 年 12 月 31 日退任
三代～四代	直島 秀良	昭和 41 年 6 月 12 日就任	昭和 49 年 6 月 30 日退任
五代	新田 成良	昭和 49 年 7 月 1 日就任	昭和 52 年 10 月 17 日退任
六代	作城 一利	昭和 53 年 8 月 28 日就任	昭和 55 年 7 月 23 日退任
七代	嘉山 正人	昭和 55 年 12 月 24 日就任	昭和 59 年 6 月 7 日退任
八代	作城 一利	昭和 59 年 11 月 10 日就任	昭和 63 年 10 月 15 日退任
九代～十一代	吉川 毅	昭和 63 年 12 月 24 日就任	平成 11 年 11 月 20 日退任
十二代～十三代	池田 豊吉	平成 11 年 12 月 27 日就任	平成 19 年 3 月 31 日

副町長

初代	池田 豊吉	平成 19 年 4 月 1 日	平成 19 年 7 月 24 日退任
二代	古賀 徹	平成 22 年 4 月 1 日	平成 25 年 6 月 30 日退任
三代	香山 泰久	平成 25 年 7 月 1 日	平成 28 年 3 月 31 日退任
四代	幸野 善治	平成 28 年 4 月 22 日	現代に至る

収入役

初代	勝 元行	昭和 33 年 6 月 12 日就任	昭和 37 年 6 月 11 日退任
二代	直島 秀良	昭和 37 年 6 月 12 日就任	昭和 41 年 6 月 11 日退任
三代～五代	正田 武忠	昭和 41 年 6 月 12 日就任	昭和 53 年 6 月 30 日退任
六代	太志 義宗	昭和 53 年 8 月 28 日就任	昭和 57 年 8 月 27 日退任
七代	亀澤 久雄	昭和 57 年 8 月 28 日就任	昭和 61 年 8 月 27 日退任
八代～十一代	大澤 昭夫	昭和 61 年 10 月 4 日就任	平成 14 年 10 月 3 日退任

●歴代議会議長

初代	大勝 官二	昭和 33 年 5 月 12 日～昭和 36 年 5 月 12 日
二代	名城 秀時	昭和 36 年 5 月 12 日～昭和 37 年 4 月 21 日
三代	平山 正明	昭和 37 年 4 月 26 日～昭和 38 年 4 月 25 日
四代	前里 永繁	昭和 38 年 4 月 25 日～昭和 39 年 4 月 25 日
五代	中村 茂人	昭和 39 年 4 月 25 日～昭和 41 年 4 月 21 日
六代	前里 永繁	昭和 41 年 4 月 26 日～昭和 43 年 4 月 26 日
七代	中村 茂人	昭和 43 年 4 月 26 日～昭和 45 年 4 月 12 日
八代	常山 宏	昭和 45 年 4 月 22 日～昭和 47 年 4 月 18 日
九代	吉田 義宏	昭和 47 年 4 月 18 日～昭和 49 年 4 月 21 日
十代	木場 友吉	昭和 49 年 4 月 25 日～昭和 51 年 4 月 25 日
十一代	木場 友吉	昭和 51 年 4 月 25 日～昭和 53 年 4 月 21 日
十二代	上野 秀次	昭和 53 年 4 月 28 日～昭和 57 年 4 月 21 日
十三代	常山 宏	昭和 57 年 4 月 22 日～昭和 61 年 4 月 21 日
十四代	中島 武志	昭和 61 年 4 月 22 日～平成 2 年 4 月 21 日
十五代	中島 武志	平成 2 年 4 月 26 日～平成 6 年 4 月 21 日
十六代	池山 福富	平成 6 年 4 月 22 日～平成 10 年 4 月 21 日
十七代	東 隆弘	平成 10 年 4 月 22 日～平成 11 年 10 月 25 日
十八代	泰良 豊重	平成 11 年 10 月 25 日～平成 14 年 4 月 21 日
十九代	鮫島 文秀	平成 14 年 4 月 22 日～平成 16 年 5 月 13 日
二十代	尚 睦夫	平成 16 年 5 月 13 日～平成 18 年 4 月 21 日
二十一代	住田 克幸	平成 18 年 4 月 22 日～平成 20 年 4 月 21 日
二十二代	住田 克幸	平成 20 年 4 月 22 日～平成 22 年 4 月 21 日
二十三代	町 田喜男	平成 22 年 4 月 22 日～平成 24 年 4 月 21 日
二十四代	大澤 章宏	平成 24 年 4 月 22 日～平成 26 年 4 月 21 日
二十五代	木原 良治	平成 26 年 4 月 22 日～平成 28 年 4 月 21 日
二十六代	田袋 徹二	平成 28 年 4 月 22 日～平成 28 年 8 月 20 日
二十七代	福岡 兵八郎	平成 28 年 9 月 6 日就任 現在に至る

9. 徳之島町のあゆみ

西暦	年号	おもなできごと
699	文武天皇 3 年	徳之島(度感)はじめて大和朝廷と通じる(7月)
701	大宝元年	大宰府管轄下にはいる
715	霊亀元年	正月再び大和朝廷へ朝貢
824	天長元年	大隅国に編入, 交通不便などの諸悪条件が重なり大和朝廷との結びつきが次第にうすれる
1264	弘長 3 年	徳之島第一島主「首里の主」来島。琉球統治下にはいる
1609	慶長 14 年	薩摩藩, 琉球征討薩藩治下にはいる(3月)
1616	元和 2 年	薩摩藩の奉行役所が亀津におかれた。初代奉行座相良勘解由。(沖永良部と与論島は徳之島の管轄統治)
1639	寛永 16 年	奉行と代官と改称(13代目野村隼人から)
1690	元禄 3 年	沖永良部島分離
1750	寛延 3 年	横目設置
1815	文化 12 年	母間騒動起こる
1829	文政 12 年	三島法執行される(砂糖総売上実施, 金銭通用停止)
1869	明治 2 年	高千穂神社を建立
1870	明治 3 年	代官を在番, 附役を筆者, 横目を検事と役名を改称
1872	明治 5 年	安住寺跡で徳之島の学校教育始まる
1873	明治 6 年	大蔵省から砂糖売買自由勝手許される(3月)
1875	明治 8 年	藩制を廃止, 徳之島支庁を亀津におき, 民選の正副戸長が行政事務を行う。金銭使用はじまる(7月)
1876	明治 9 年	明治4年の太政官布告が公告され, 散髪, 服装, 脱刀などが自由になる(亀津断髪の始まり)
1878	明治 11 年	亀津に教員養成所設立, 亀津・東天城郵便局開局, 大島警察署徳之島分署設立

西暦	年号	おもなできごと
1879	明治 12 年	徳之島支庁を廃止し大島郡役所の徳之島出張所がおかれる
1880	明治 13 年	戸長、副戸長の民選を廃止し官選になる
1882	明治 15 年	戸長公選、副戸長を勸業員と改称
1883	明治 16 年	農務省から 2 人の技官来島し、砂糖振興講習会を開く
1885	明治 18 年	郡役所廃止、金久支庁開設
1888	明治 21 年	戸長役場を四区に統合、東天城村役場を山に設置
1891	明治 24 年	定期航路開かれる
1908	明治 41 年	島嶼町村制の施行で東天城村が天城村に吸収合併、戸長が村長と改称、小学校 4 年義務制が 6 年制になる、亀津に初の青年団結成
1911	明治 44 年	喜界島近海を震源とした大地震発生 (奄美・沖縄で死者 7 人、全壊家屋 418 戸)
1912	大正 2 年	消防組設置
1913	大正 3 年	亀津・平土野間に県道開設
1915	大正 5 年	東天城村、天城村から分散独立 (5 月)
1919	大正 8 年	花徳郵便局開局、亀津大火災 (被害総額 32 万円)
1920	大正 9 年	普通町村施行、官制の村長を廃して公選になる
1923	大正 12 年	電灯がともる (9 月)
1924	大正 13 年	東天城村役場を山から花徳へ移転、母間郵便局開局
1925	大正 14 年	花徳に県蚕業模範場が設立 (4 月)
1926	昭和元年	山・花徳間県道完成、徳之島分署が徳之島警察署に昇格 (7 月)
1928	昭和 3 年	手々神社創立
1929	昭和 4 年	母間・山小に初の鉄筋コンクリート 2 階建て校舎完成
1933	昭和 8 年	トラックが移入
1941	昭和 16 年	亀津村を亀津町に改める (12 月)
1946	昭和 21 年	日本国土と行政分離、米軍政下におかれる (2 月)、亀津町立亀津女学校創立 (7 月)
1949	昭和 24 年	徳之島高等学校創立
1950	昭和 25 年	花徳で徳洲オリンピック大会開く
1952	昭和 27 年	定期バス開通、徳之島で初の大相撲を開く (11 月)
1953	昭和 28 年	日本行政下に返還され、再び東天城村、亀津町として県政下に加わる (12 月)
1954	昭和 29 年	奄美群島復興特別措置法公布 (12 月)
1956	昭和 31 年	亀徳港湾埋立工事着手
1957	昭和 32 年	神之嶺小と井之川小が統合して神之嶺小となる
1958	昭和 33 年	亀津町と東天城村が合併、徳之島町になる (4 月)、花徳中学校と母間中学校が統合、東天城中学校発足 (4 月)、林道池田線、花徳線開通 (10 月)
1959	昭和 34 年	名瀬公共職業安定所徳之島分室開所、新庁舎建設計画着工、「高千穂丸」初接岸、第 1 回町民体育祭開催
1960	昭和 35 年	亀徳、諸田地区簡易水道事業開始、島内循環道路が完成、町体育協会結成、このころからラジオ、電気洗濯機などがブームに
1961	昭和 36 年	国民健康保険事務開始 (1 月)、亀徳埋立完成、亀徳小学校校舎落成 (2 月)、義宮殿下御来島 (7 月)、台風 18 号来襲、災害救助法適用、亀津中学校井之川分校が井之川中学校に昇格 (9 月)
1962	昭和 37 年	亀徳小・亀津中完全給食、亀徳、秋津橋完成 (5 月)、新生活運動実施、10 トンブルドーザー導入 (7 月)
1963	昭和 38 年	花徳小学校校舎、下久志分校新校舎落成 (2 月)、井之川中学校新築校舎落成 (3 月)、徳之島法務検察合同庁舎落成 (5 月)、交通安全町宣言 (7 月)、徳之島パイロット事業起工式、復帰 10 周年記念祝賀式、山へき地診療所開設 (12 月)
1964	昭和 39 年	町章を制定、人権擁護相談所開設 (1 月)、第 2 大瀬橋落成 (2 月)、尾母中学校校舎落成、入植団地「旭ヶ丘」として行政区に編入、行政無線開局 (3 月)、文化財保護条例制定 (6 月)、全島 24 時間送電 (12 月)
1965	昭和 40 年	母間郵便局新築落成 (6 月)、花徳支所新築落成 (7 月)、徳之島開拓パイロット事業で入植団地「大原」として行政区に編入、亀津塵芥処理場落成、亀津中学校体育館落成
1966	昭和 41 年	山中学校、東天城中学校体育館落成、山へき地出張診療所医師住宅落成、亀津中学校校舎落成、町中央公民館落成、NHK テレビ塔落成

西暦	年号	おもなできごと
1967	昭和 42 年	亀津臨海埋立工事着工, 亀津農道, 船換農道開通, 亀津火葬場落成, 亀津港湾埋立工事着工, 奥山八郎先生胸像建立, 各学校日直廃止
1968	昭和 43 年	合併 10 周年祝賀式典挙式, 農業構造改善事業開始
1969	昭和 44 年	奄美群島振興特別措置法改定延長, 亀津臨海埋立工事竣工, 紬織工養成所新築落成, 亀徳港待合所新築落成, 秋雨前線集中豪雨による災害救助法適用, 亀津小学校体育館落成, 轟木へき地福祉館落成
1970	昭和 45 年	徳之島町誌刊行
1971	昭和 46 年	過疎対策事業実施, 亀徳～井之川線簡易舗装成る, 知事と語る会開催, 花徳小学校, 井之川中学校体育館落成
1972	昭和 47 年	皇太子・美智子妃殿下御来町(9月), 神之嶺小学校体育館落成
1973	昭和 48 年	県政懇談会開催, 亀徳港拡張工事, 亀津北区臨海埋立工事着工, 県営畑総事業はじまる, 母間小学校体育館落成, 山地区コミュニティセンター落成
1974	昭和 49 年	新庁舎完成, 国定公園指定, 徳三宝先生頌徳記念碑建立, 海底公園センター「汐路」落成, 花徳生活館落成, 亀徳小学校, 尾母中学校体育館落成, 町給食センター発足
1975	昭和 50 年	三町共同経営のと畜場完成, 3DK住宅完成(阿田野平), 7月と10月に集中豪雨, 山小学校体育館落成
1976	昭和 51 年	池間社会福祉館落成, 龍野定一先生胸像建立, 台風9号・17号の被害
1977	昭和 52 年	亀津北区海浜埋立工事完了, 手々小学校体育館落成, 尾母へき地福祉館落成
1978	昭和 53 年	特別養護老人ホーム「徳寿園」完成(3月), 町民と語る室を開設(5月), 第四期埋立工事着工(10月), 老人バス, ドーザーショベル, 運搬車購入
1979	昭和 54 年	阿田野平団地4棟完成, 手々へき地保健福祉館, 下久志青年館, 神之嶺農業研修館完成
1980	昭和 55 年	上花徳農業研修館, 金見農業研修館, 亀津中武道館完成, ジェット機DC9就航
1981	昭和 56 年	中区生活館完成, 町立母間保育所開設, 前田村清・秋武喜祐治翁の銅像建立, 徳之島小唄記念碑建立(5月), 鈴木善幸総理来島(9月), 埋立記念碑建立(12月), 南原農業研修館完成
1982	昭和 57 年	山地区簡易水道, 下久志分校特別教室完成(3月), 渡辺大蔵大臣来島(8月), 神嶺ダム本体完成, 花徳林道開設, 公営住宅完成(大船・満久里), 山小学校にプール完成, 夜間照明施設完成(山中学校・井之川中学校), 教員住宅完成(大船・神之嶺)
1983	昭和 58 年	夜間照明施設完成(亀徳小学校), 徳之島町上水道浄水場完成, 新大瀬橋完成, 徳之島勤労者体育センター完成, 16m道路開通, 亀徳地区振興センター完成, 神嶺畑総にスプリンクラー設置
1984	昭和 59 年	徳之島地区消防組合が発足, 畦プリンスビーチ開園, ごみ処理センター完成, 町営住宅完成(尾母, 阿田野平, 上花徳, 轟木), 県営住宅徳之島団地入居開始(4月)
1985	昭和 60 年	陸上競技場が完成, 青少年憩いの家完成, 健康のまち宣言
1986	昭和 61 年	過疎基幹農道, 本川地区(本川～尾母間)開発着工, 移動図書館を運行, 「サンゴ祭り」を「どんどん祭り」に改称, 農村情報連絡施設完成, 国営農地開発事業が大原地区から始まる, 第二大瀬橋架け替え, 全郡六調大会開く, 新浦久田橋完成
1987	昭和 62 年	亀津公園完成, たい肥センター完成, ウミリバエ不妊虫放飼始まる, 「健康のまち宣言」シンボルタワー完成, 知事広聴「地域おこし車座対話」開かれる(6月), 全国民俗舞踊共演とシンポジウム開く(11月), 亀津で戦後最大の火災(11月, 11世帯27人が焼きだされる), 24時間テレビから入浴専用車が贈られる, 青少年地域間交流促進事業「さとうきびっ子」実施, 尾母中学校県中学総体庭球団体戦優勝
1988	昭和 63 年	初のビワ品評会開く(4月), 畦にキャンプ場完成, 亀津小学校南側校舎完成, 葉草の展示コーナー設置, 全郡女子青年研修会を本町で開く, 徳之島町合併30周年記念式典(11月), 旭道山が十両へ昇進, 花徳小学校プール完成(12月)
1989	平成元年	天皇崩御 元号を「平成」と改める, 旭道山幕内へ昇進, 保健センター完成(4月), 神之嶺小学校プール完成(3月), 外国青年招致事業を始める, 町相撲場完成, 徳之島保健所が亀津霜原に移転, 井之川の夏目踊りが全国民俗芸能大会へ出演, 長寿年金制度を制定, 奄美群島振興開発事業が5ヶ年延長される
1990	平成 2 年	山中学校校舎完成(3月), 旭ヶ丘公民館完成, 合同金婚式行われる(5月) 神嶺地区畑総完工碑建立, 母間で第1回「ちゅきゃい節まつり」行われる, 第1回健康まつり実施(10月), 秋利神架橋2号橋工事着工(12月), 第33回奄美駅伝大会本町で開催(12月)

西暦	年号	おもなできごと
1991	平成3年	山港に灯台が完成, 南西糖業徳和瀬工場にサトウキビ品質サンプル採取機「コアサンプラー」設置, 役場庁舎増設完成, 文化センター駐車場完成, 第1回歯の健康まつり実施(6月), 井之川中学校校舎完成(3月), 地籍調査事業始まる(4月), 第三大瀬橋完成(3月), 亀徳新港の埋立開始(11月), 涵養ミニダム井之川地区に完成
1992	平成4年	涵養ミニダム轟木地区に完成(3月), 秋利神架橋1号工事着工(10月), サトウキビ収穫機ハーベスターが初めて導入される(3月), 亀徳小学校校舎完成(3月), 公営住宅山港川団地完成3階建1棟, シルバー人材センター開設(4月)
1993	平成5年	奄美群島振興開発事業が5ヶ年延長される(3月), 秋利神架橋2号橋完成(橋長115m), 公営住宅山千屋団地2階建1棟完成, 農産物加工センター完成, 電算システム稼働開始(11月)
1994	平成6年	徳之島警察署が亀津下霜原へ移転(3月), 徳之島町文化会館完成(3月), 亀徳大橋工事着工(2月), ミルクの給食のLL牛乳をふつう牛乳に切替える(5月), 総合運動公園プール施設着工, さとうきび品質取引きへ移行, 亀津漁港改修事業始まる
1995	平成7年	尾母小中学校校舎完成(3月), 母間港改修事業始まる, 地域福祉センター落成(8月), 公営住宅亀徳港ヶ丘団地建設始まる, 第46代横綱朝潮太郎銅像建立
1996	平成8年	母間小学校校舎落成(3月), 亀徳新港供用開始
1997	平成9年	亀徳大橋完成, 総合運動公園プール施設完成, 亀津中学校屋内運動場落成(3月)
1998	平成10年	在宅介護支援センター設置始まる, 町制施行40周年記念式典(6月), 国営徳之島用水事業, 大原～三京トンネル開設工事始まる
1999	平成11年	総合運動公園野球場完成(3月), 奄美群島振興開発事業が5ヶ年延長される
2000	平成12年	東区公民館完成(2月), 神之嶺小学校校舎落成(3月), 総合運動公園完成(ジョギングロード・庭球場・多目的広場)(4月), あおぞら園開園(10月), 総合運動公園子ども広場完成(10月)
2001	平成13年	徳之島トンネル供用開始(3月), 亀徳港ヶ丘団地完成(3月), 南風園開園(4月), 南区公民館完成(5月), 諸田公民館完成(5月), 井之川公民館竣工(8月)
2002	平成14年	徳之島町総合計画書作成(3月), インターネット稼働式(8月), 第5回全国闘牛サミット開催(10月), 亀津中学校吹奏楽部全国大会出場(11月)
2003	平成15年	徳之島地区合併シンポジウム開催(2月), 徳之島愛ランドクリーンセンター竣工(3月), 亀津中学校・東天城中学校空手道部全国大会出場(6月), 奄美群島日本復帰50周年記念事業NHKふるさと自慢・うた自慢開催(11月)
2004	平成16年	健康の森総合運動公園竣工(2月), 徳之島地区合併協議会発足(4月), 生涯学習センター竣工(5月), 北区公民館竣工(5月), 澤愛華さん日本民謡民部少女全国大会中学生の部で日本一(8月), 小郷住宅4号棟完成(11月), 奄美群島振興開発事業が5ヶ年延長される
2005	平成17年	花徳小学校校舎完成(3月), 母間公営住宅完成(8月), 諸田公営住宅完成(12月), 第1回徳之島ワイド祭り開催(12月), 山コミュニティセンター完成(12月)
2006	平成18年	公共下水道事業認可(1月), 徳之島町文化会館指定管理者制度導入(4月), 徳之島町立図書館指定管理者制度導入(4月), NHK夏季巡回ラジオ相談・みんなの体操会開催(8月), 大相撲徳之島場所開催(12月)
2007	平成19年	陸上自衛隊第1混成団第101飛行隊ヘリコプター墜落事故(3月), 徳之島スポーツアイランド推進協会設立(4月), 戸籍電算システム稼働(10月)
2008	平成20年	陸上自衛隊第8音楽隊ふれあいコンサート開催(3月), 第21回トリアスロンIN徳之島三町共同開催(6月), 町制施行50周年記念式典(10月)
2009	平成21年	自衛隊殉職者慰霊碑及び登山道完成(2月), 自衛隊殉職者3回忌慰霊祭(3月), マリンパーク開田指定管理者制度導入(4月), 徳之島健康の森総合運動公園指定管理者制度導入(4月), 部分日食(7月), 台湾チャーター機就航(9月), 徳之島北部地域デマンド型交通導入, 徳之島市場オープン(10月), 奄美群島振興開発事業が5ヶ年延長される
2010	平成22年	徳之島町花・町木制定(2月), 鹿児島市にアンテナショップ「旬華」オープン(3月), 公共下水道供用開始(4月), 太村健二くん第26回わんぱく相撲全国大会で日本一(8月), 徳之島町指定金融機関・徳之島町水道事業出納取扱金融機関業務開始, 徳之島町浄化センター通水(10月)
2011	平成23年	花徳小湊橋架け替え工事完了(3月), 徳之島中央家畜市場落成(5月), 光ファイバー開通(7月), 初の三町合同防災訓練を実施(10月), 轟木で竜巻被害(11月), 町総合食品加工センター美農里館落成(11月), 南日本新聞社と「新聞活用等に関する協定書」締結(12月)

西暦	年号	おもなできごと
2012	平成 24	電気バス運行開始 (3月), TMRセンター徳和瀬地区に完成 (5月),
2013	平成 25	徳之島地区消防組合消防救急無線デジタル無線による業務開始 (8月), 第1回食と農林漁業の祭典開催 (11月), 町営小郷団地5号棟完成 (11月), 徳之島町救急用ヘリコプター場外離着陸場竣工 (12月)
2014	平成 26	第1回徳之島町地区対抗駅伝競走大会開催 (1月), 町植物工場「神田福祉農園」開所 (2月), ギニア共和国と徳之島三町が友好協定締結, 奄美群島振興開発事業が5ヶ年延長される
2015	平成 27	第30回国民文化祭かごしま2015民謡・民舞フェスタ in とくのはま開催 (10月), 亀津中学校新校舎落成 (11月)

●数字で見る町民生活 (平成 27 年及び平成 27 年度)

<p>人口密度</p>  <p>1km²に 107 人</p>	<p>世帯人数</p>  <p>1 世帯に 2.3 人</p>	<p>出生</p>  <p>1 月に 10.5 人</p>	<p>死亡</p>  <p>1 月に 15.6 人</p>
<p>転入</p>  <p>1 月に 53 人</p>	<p>転出</p>  <p>1 月に 67.8 人</p>	<p>結婚</p>  <p>1 月に 3.5 組</p>	<p>離婚</p>  <p>1 月に 2.3 組</p>
<p>ごみ収集量</p>  <p>1 日に 10.9 トン</p>	<p>水道使用量</p>  <p>1 日に 3,356 m³</p>	<p>救急出動 (島内)</p>  <p>1 日に 4.7 件</p>	<p>火災発生 (島内)</p>  <p>1 年に 60 件</p>
<p>緊急出動 (島内)</p>  <p>1 日に 4.9 件</p>	<p>町の予算</p>  <p>町民 1 人に 613,255 円</p>	<p>町税</p>  <p>町民 1 人が 79,270 円</p>	<p>町職員</p>  <p>町民 72 人に 1 人</p>

名誉町民



故 亀沢 道喜先生

昭和 37 年名誉町民の称号を受く
明治 16 年 5 月 4 日亀津にて出生。
明治 40 年 3 月日本大学高等部卒業、
昭和 5 年亀津村長に就任、昭和 19
年辞任、昭和 23 年 7 月亀津町長に
当選以来昭和 31 年 9 月迄町長、昭
和 30 年 1 月全国町村長会会長より
表彰状を受く。
昭和 37 年 11 月 13 日没。



故 奥山 八郎先生

昭和 40 年名誉町民の称号を受く
明治 20 年 3 月 10 日亀津にて出生。
東京帝大法科卒業、裁判所判事、東
京弁護士会長、日本弁護士連合会長、
奄美群島復興審議会委員、同根興審
議会委員。昭和 41 年勲一等瑞宝章
受く。
昭和 42 年 10 月 1 日没。



故 龍野 定一先生

昭和 40 年名誉町民の称号を受く
明治 23 年 3 月 6 日亀津にて出生。
大正 2 年 3 月広島高等師範卒業、
大正 11 年隣保事業善隣館創立館長
に就任、大正 13 年 8 月大島中学校
長となり、厳訓無処罰の教育実施、
全国公民館連絡協議会長、社団法人
善行会理事、昭和 29 文部大臣表彰、
昭和 41 年勲四等瑞宝章受く。
昭和 61 年 1 月 29 日没。



故 重村 一郎先生

昭和 51 年名誉町民の称号を受く
大正 11 年 11 月 6 日花徳にて出生。
昭和 14 年 3 月鹿児島県立第二中学
校卒業、昭和 22 年東天城村長に就
任、昭和 24 年辞任、昭和 30 年鹿
児島県議会議員に当選以来昭和 51
年 12 月まで県議、昭和 47 年 10
月全国都道府県議会議長より表彰
状を受く。
昭和 51 年 12 月 1 日没。



故 秋武 喜祐治先生

昭和 56 年名誉町民の称号を受く
明治 32 年 6 月 3 日亀徳にて出生。
大正 6 年 3 月鹿児島県師範学校講
習所卒業、昭和 21 年 2 月亀津町長
に就任、昭和 25 年 6 月亀津町農業
会長就任、昭和 30 年 6 月亀津町中
央農協長に就任、昭和 31 年 9 月亀
津町長に就任、昭和 33 年 4 月初代
徳之島町長に就任以来 5 期 20 年町
政を担当、昭和 49 年勲五等瑞宝章、
昭和 53 年日本赤十字社金色有功章、
昭和 55 年南海文化章を受く。
平成 3 年 3 月 3 日没。



故 前田 村清先生

昭和 56 年名誉町民の称号を受く
明治 41 年 3 月 25 日亀津にて出生。
大正 9 年 3 月尾母尋常小学校卒業、
昭和 25 年 7 月関西金属工業株式会
社社長、昭和 40 年 12 月徳之島総
合陸運株式会社代表取締役会長、そ
の間には関西徳洲会会長、関西奄美
会会長、近畿鹿児島県人会総連合会
副会長、日本闘牛畜産振興会会長、
徳之島闘牛連合会会長、徳之島交
通改善協会会長を歴任。昭和 34 年
3 月日本赤十字社金色有功章、昭和
35 年 3 月日本赤十字社紺綬褒章、
昭和 43 年 10 月鹿児島県知事より
感謝状を受く。
昭和 59 年 1 月 7 日没。



故 5代：高砂浦五郎親方

昭和 57 年名誉町民の称号を受く
昭和 4 年 11 月 13 日井之川にて出生。昭和 17 年神之嶺国民学校高等科卒業、昭和 23 年高砂部屋入門、昭和 25 年秋場所新十両、昭和 26 年春場所新入幕、昭和 27 年朝汐太郎襲名、昭和 28 年初場所新関脇、昭和 32 年夏場所新大関、昭和 34 年第 46 代横綱となる。昭和 37 年引退まで優勝 5 回、殊勲賞 4 回、昭和 46 年高砂浦五郎襲名、日本相撲協会理事として昭和 47 年から昭和 56 年まで審判部長、昭和 57 年から巡業部長。
昭和 63 年 10 月 23 日没。



故 直島 秀良先生

昭和 59 年名誉町民の称号を受く
明治 45 年 1 月 10 日花徳にて出生。昭和 6 年 3 月神戸専修高等簿記学校卒業、昭和 23 年 8 月 1 日東天城村役場助役就任、昭和 33 年 6 月徳之島町助役就任、昭和 53 年 4 月徳之島町長就任。
昭和 55 年 11 月 28 日没。



故 肥後 吉次先生

平成 4 年名誉町民の称号を受く
明治 40 年 2 月 10 日亀津にて出生。昭和 9 年 3 月日本大学法文学部法律学科卒業、昭和 23 年名瀬市議当選、同年臨時北部南西諸島経済復興委員会会長、昭和 26 年臨時知事、昭和 29 年鹿児島県議会議員に当選以来平成 3 年まで県議、昭和 44 年 10 月藍綬褒章、昭和 52 年 4 月勲 4 等、昭和 59 年 4 月勲 3 等瑞宝章、昭和 62 年 10 月自治大臣表彰を受く。
平成 8 年 1 月 29 日没。



故 保 直次先生

平成 4 年名誉町民の称号を受く
大正 5 年 2 月 5 日井之川にて出生。昭和 7 年神之嶺尋常高等学校卒業、昭和 23 年天文館に（資）森永製菓キャンディーストア設立、昭和 34 年森永会館、昭和 36 年城山観光（株）昭和 39 年南映タクシー（株）、昭和 43 年城山合産（株）代表取締役就任、昭和 46 年鹿児島商工会議所常任顧問就任、昭和 57 年（株）鹿児島放送取締役、昭和 60 年西日本レジャー（株）、昭和 62 年（株）サンシャイントラベル代表取締役就任。昭和 55 年 10 月日本赤十字社金色有功章、昭和 56 年紺綬褒章受く。昭和 58 年 2 月第 10 回九州・山口経営者賞受賞。
平成 24 年 10 月 16 日没。



徳田 虎雄先生

平成 18 年名誉町民の称号を受く
昭和 13 年 2 月 17 日亀徳にて出生。昭和 40 年 3 月大阪大学医学部卒業、昭和 47 年大阪府松原市天美に徳田病院開設、昭和 49 年 12 月医療法人徳洲会設立、同理事長に就任、平成 2 年 2 月衆議院議員当選、平成 7 年沖繩開発政務次官就任、平成 8 年日本体操協会会長、アジア体操協会会長就任、平成 17 年衆議院議員辞職。



宮上 淳先生

平成 24 年名誉町民の称号を受く
大正 13 年 1 月 6 日諸田にて出生。昭和 19 年 3 月台北帝国大学医学専門部卒業、陸軍軍医。昭和 20 年 8 月台北赤十字病院勤務。昭和 21 年 7 月諸田に宮上病院を開業。昭和 22 年 4 月亀津に移転開院、警察医、学校医。昭和 32 年 4 月徳之島保健所運営協議会委員長、大島郡医師会理事。昭和 36 年 2 月鹿児島大学にて医学博士を授与。昭和 55 年 11 月医療法人南冥会宮上病院理事長。昭和 54 年 7 月警察庁官賞、昭和 55 年 1 月法務大臣賞、平成 4 年 11 月勲 5 等雙光旭日賞、平成 20 年 11 月南海文化賞、平成 23 年 6 月鹿児島県医師会長賞受賞。
平成 28 年 11 月 26 日没。

2017 鹿兒島県徳之島町 町勢要覧

鹿兒島県大島郡徳之島町亀津 7203 番地

T E L = 0997-82-1111

F A X = 0997-82-1101

<http://www.tokunoshima-town.org/>

(発行) 徳之島町役場

